

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

取組番号	2-2-2	取組項目名	効率的かつ効果的な事務事業の推進			
所管	—	局	市政集中改革室	部	行革推進担当	課
〔P〕 取組内容	実施内容	平成23年度から継続して実施している「事務事業の総点検(事務事業評価システム)」について、外部有識者の意見等を踏まえながら、より効果的・効率的な運用に努め、各課が実施する事務事業のさらなる費用対効果の向上や行政資源の有効配分などの改善・見直しを推進します。				
	目標	H30	事務事業評価システムのより効果的で効率的な運用			
		R1	事務事業評価システムのより効果的で効率的な運用			
〔D〕 実績・進捗状況	H30	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に聴取した外部有識者の意見を踏まえ、総点検シートの設問及び事務事業評価マニュアルを改訂(4月)。 評価の質の向上及び行政活動の改善・見直しを着実に推進することを目的として、153事業を対象に行革推進課及び外部有識者による2次点検を実施(8月～10月)。 効率的な点検の実施及び施策推進に向けた評価制度の構築を目的に、外部有識者の意見も踏まえながら検討を実施(11月～3月)。 				
		H30の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	R1	<ul style="list-style-type: none"> 事務事業の総点検について、事業の活動内容や成果に関する記載方法を変更し、事業費決算額が小さい事業は点検項目を簡素化する等により、効果的・効率的な点検を可能とした。 また、市が実施する全ての事務事業を対象に事業見直しを実施し、所管部局による自律的な点検のほか、市民・職員からの提案を踏まえながら見直すことで、事務事業の改善を推進した。 				
		R1の達成度	a	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
		H30～R1の達成度	a	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	R2	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大により厳しい財政運営が想定される中、事業の廃止や休止、規模の縮小等を含めたコスト削減策の検討など、抜本的な見直しを推進するため、総点検シートの点検項目を大幅に見直した。 総点検シートの作成を通じて所管部局による点検、3副市長による点検を実施し、事務事業の見直しを推進した。 				
		R2の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
		H30～R2の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成		
	行革効果額の見込み及び実績			平成30年度	令和元年度	令和2年度
		見込み		1,200 百万円	1,200 百万円	1,200 百万円
	実績		1,477 百万円	4,020 百万円	1,340 百万円	
評価	A	〔基準〕 S:優良 A:良好 B:普通 C:不良				
〔C〕 評価	課題分析	<ul style="list-style-type: none"> 事務事業の見直しを実施した結果、令和2年度の行革効果額の実績は目標を上回ることができた。 それでもなお、本市の財政は、今後、一般財源ベースで毎年度40億円から50億円の収支不足が続く極めて厳しい状況にあることから、さらに行財政改革を推進する必要がある。 				
〔A〕 改善策	改善策	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年2月に「堺市財政危機宣言」を発出したことを受けて、令和3～4年度は「集中改革期間」として市政全般の抜本的な行財政改革に取り組む。 事務事業評価システムについては、効果的かつ効率的な事業の推進が図られるよう、堺市基本計画2025の推進や当初予算要求と連動させるほか、評価項目の見直しなどの改善に取り組む。 				
備考						